

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R 2 -12
②	研究課題名	切除不能肝細胞がんのレンバチニブ治療における有害事象発症と治療効果に及ぼす影響
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	レンバチニブを投与する患者さんの治療効果と有害事象（副作用）の関係を検討し、その治療効果と有害事象の関連性を調べることを目的としております。そのため診療の中で得られる④の情報を収集し札幌医科大学で集計し統計解析します。
④	利用または提供する情報の項目	治療前後、治療中の診療録記載情報、生理検査、検体検査結果等
⑤	対象者及び対象期間	2022年10月30日まで、当院でレンバチニブ治療を行う局所療法に適応のない肝細胞癌患者
⑥	利用の範囲	この臨床研究で得られた成績は、学会発表や論文などで公表されることがありますが、あなたの名前などの個人情報は一切わかりません。また、本臨床研究の目的以外に使用されることはありません。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【 内科 明石浩史 】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。